平成30年２月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第642号

林業福島

No. 642

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

2　2018

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■囲　　炉　　裏

第47回全国林業後継者大会開催に寄せて

いわき市長
清　水　敏　男

第四七回全国林業後継者大会が、「未来へと　つなげる心　森林（もり）づくり」を大会テーマとして、本年六月九日（土）に本市において開催されます。

本市においては、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故によって、四六〇名を超える尊い命と多くの市民の皆様の貴重な財産が失われるとともに、あらゆる産業において風評被害をはじめとする様々な被害が生じ、特に林業においては、森林整備や林業生産活動、森林（もり）づくり活動の停滞など、大変大きな影響を受けたところです。

本市は、森林面積が市域の約七割に達しております。森林の五七㌫は人工林が占めており、そのうち、スギが六七㌫、ヒノキが八㌫、アカマツとクロマツが合わせて二四㌫と、建材等に利用できる木材を十分に供給できる潜在力があります。また、山と伐採した木材の集積地を結ぶ林道は、福島県内で最も長く、林道密度についても一㌶あたり一〇・二㍍と県内平均の七・二㍍を上回っており、木材の搬送を比較的スムーズに行える環境を有しております。

このため、本市におきましては、本来森林が有する公益的機能を発揮することはもとより、次世代に引き継げる森林・林業・木材産業を目指し、木材利用の拡大と林業・木材産業の活性化に取り組んでいるところであります。

このような中、第四七回全国林業後継者大会が本市において開催されますことは、誠に意義深いものと考えており、豊かな森林を守り育て、次の世代に確実に引き継いでいく決意を新たにしております。

また、この機会を捉え、震災からの復興に温かい御支援を賜りました皆様に対し、感謝の気持ちを伝えるとともに、「ふるさといわき」と福島県の力強い復興の姿や魅力を全国に発信し、風評被害の払拭や交流人口の拡大にも寄与して参りたいと考えております。

第四七回全国林業後継者大会におきましては、広く県民の皆様にも参加していただけるよう、一般参加者を募集し、大会会場に隣接する平中央公園では、本市の特産物であるトマトを活用した「トマトフェス」を同時開催するほか、交歓の夕べでは、フラダンスショーを披露することなどが既に決定し、賑やかに、そして「いわきらしく」、参加される方々を温かくおもてなしさせていただく予定としております。

今後におきましても、大会の成功に向け、関係各所と連携しながら鋭意準備を進めて参りますので、皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

《もくじ》

とびら
第47回全国林業後継者大会開催に寄せて
いわき市長　清　水　敏　男…… 1
第69回全国植樹祭・第47回全国林業後継者大会
100日前記念イベントを開催します！…… 2
林業研究センターだより…… 3～4
山火事を防止しましょう
～小さな火　大きな森を　破壊する～… 5
第２回福島県きのこ料理コンクールを開催… 6
平成29年度森林土木研修会を開催しました… 7
普及指導員通信…… 8
福島県林業労働力確保支援センターだより… 9
木連だより…… 10
「自然に親しむ」…… 11
木材市況・ふくしま東西南北…… 12
はなしのひろば・お知らせコーナー…… 13

第69回 全国植樹祭 ふくしま 2018
育てよう 希望の森を いのちの森を

参加者募集！

第六九回全国植樹祭 大会一〇〇日前記念イベントを開催します！

（第四七回全国林業後継者大会プレイベント）
第六九回全国植樹祭福島県実行委員会事務局
（福島県農林水産部全国植樹祭推進室内）

第六九回全国植樹祭及び第四七回全国林業後継者大会の一〇〇日前を記念して、二月二四日（土）に、二本松市の「福島県男女共生センター」においてイベントを開催します。

イベントでは、元林野庁長官の沼田正俊氏、２０１７ミス日本みどりの女神の野中葵氏らをお招きし、森林づくりについてのパネルディスカッションを開催します。また、矢口史靖監督の映画「ＷＯＯＤ　ＪＯＢ！～神去なあなあ日常～」を上映します。

当日は入場無料で、参加は事前申込制です。詳しくは第六九回全国植樹祭のホームページをご覧ください。
（URL：https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/syokujusai/）

第六九回全国植樹祭おもてなし弁当決定！

第六九回全国植樹祭で参加者の方々に配布する「おもてなし弁当」が決定しました。おもてなし弁当は、福島牛やメヒカリ、きのこや桃など、浜・中・会津の山の幸・海の幸をふんだんに使用した九種類の料理で彩られています。

おもてなし弁当は、南相馬市の式典会場で招待者の皆様に配布します。福島県ならではの味覚をご堪能ください。

おもてなし弁当イメージ図

林業研究センターだより

放射性セシウムの森林における試験研究について

―植栽した樹木の葉の放射性セシウムについて―

苗畑植栽試験の様子

福島県林業研究センター
森林環境部 研究員　福　山　文　子

東京電力福島第一原子力発電所事故からもうすぐ七年が経過しますが、放出された放射性セシウムが、様々な環境の中でどのように移動するか、また、樹木内における放射性セシウムがどのように分布するか、現在も各機関で調査が行われています。

当センターにおいても、間伐などの森林施業による空間線量率の低減効果、植栽木や萌芽更新木における放射性セシウムの動態把握、カリウム施肥による樹体への吸収抑制効果の調査などを行っています。今回は、将来的に放射性セシウムが植栽木にどの程度移行するかを把握する一助とするため、名古屋大学と協力し、放射性物質に汚染されていない県外産の苗木を用いて、樹種や植栽場所の土壌環境と放射性セシウムの移行の関係について調査をしていますので紹介します。

調査は、郡山市にある当センターの苗畑と伊達郡川俣町の林地で行っています。郡山市の調査地では、トラクターで深さ二〇センチメートルほどまで耕転した箇所と耕転していない箇所に分け、それぞれの箇所に平成二四年四月にスギ、アカマツ、平成二五年四月にコナラ、コシアブラを植栽しました。伊達郡川俣町の調査地では、平成二七年十一月に同じ四樹種を植栽しましたが、スギおよびアカマツについては、冬期に野生動物による食害が発生したため、平成二八年四月に補植しました。その後平成二八年九月に、植栽した苗木からそれぞれ葉を採取し、付着物を洗浄して、乾燥後、粉砕し、U８容器に充填しました。また、葉の採取に合わせて土壌も採取し、乾燥後、U８容器に充填しました。U８容器に充填したサンプルは、ゲルマニウム半導体検出器によりセシウム１３７濃度を測定しました。

これまでの研究から、樹木の放射

林地植栽試験の様子

性セシウムの移行には土壌環境が関与しているといわれており、放射性物質が土中から樹木へ吸収される割合を示す値として一般的に次の式で求める「移行係数」が用いられます。

移行係数＝葉のセシウム１３７濃度（ベクレル／キログラム）／土壌のセシウム１３７濃度（ベクレル／平方メートル）

また、植物のセシウムの吸収については、土壌のカリウム濃度との関連性が強く、土壌のカリウム濃度が不足している環境では、植物はよりセシウムを吸収することが報告されています。そのため、各調査地において土壌のカリウム濃度も含めて化学性も分析しています。

これらの分析結果をもとに、放射性物質の樹木への移行実態について把握し、将来、林木の利活用を図る際に役立てられればと考えています。なお、今回の紹介は、植栽木の葉に着目した試験研究の状況ですが、枝や材部といった他の部位の放射性セシウムの調査も必要です。樹木内部の放射性物質セシウムの濃度は材部よりも新葉や枝の方が高いと報告がされていますが本県においても同様な結果になるのかなど、今後も詳細な調査を進めていきたいと思います。

最後に、この調査を行うにあたり、サンプルの採取や放射性物質の測定等において、名古屋大学の方々、森林総合研究所の方々、日本放射線安全管理学会の試料測定協力グループの皆様をはじめ、多くの方々に多大なる協力をいただいています。この場を借りてあらためて深く感謝申し上げます。

コシアブラ

コナラ

アカマツ

スギ

植栽した樹種

ゲルマニウム半導体検出器

Ｕ８容器に充填したサンプル

山火事を防止しましょう

～小さな火　大きな森を　破壊する～

福島県森林保全課

○山火事の発生時期

冬から春先にかけては、雨が少なく空気が乾燥していることに加え季節風も強いことから、火災発生の危険が高まる時期となります。また暖かくなる春は登山やハイキングなどで山に入る人や機会が増えるほか、農作業を始める時期とも重なり田畑や自宅の周辺などで火を使ったことにより発生したとされる山火事が多発します。空気の乾燥により炎が燃え広がりやすく、平成二九年においては、四月末に浪江町と双葉町で七五ヘクタールを焼損する大規模な山火事が発生しました。

○山火事の発生原因

全国で平成二八年に発生した山火事（林野火災）は一、〇二七件であり、その原因で最も多いのは「たき火」で三〇九件、次に「火入れ」一七〇件となっております。当県においても三八件の山火事が発生しております。※1

このことは、多くの山火事の発生が人為的な不注意によるものであることを意味しており、注意をすることで多くの山火事を防ぐことができます。

○山火事を発生させた場合の責任

森林法において、他人の森林に放火をした者に対して、有期懲役の罰則規定が有ることに加え、失火による森林の延焼に対しても罰則規定があり、失火させてしまった方も責任を問われることがあります。

山火事を発生させてしまうことは大変重大なことであり、山火事を発生させないよう私たち一人ひとりが火の取り扱いに注意することを心がけましょう。

○山火事を発見したら

山火事の消火活動は、市街地の火災に比べ、道路、水利、地形などの条件から非常に困難であるため、自力での消火は大変危険です。

山火事が発生した場合や、山火事を発見したときは、すぐに消防署等へ通報するようお願いします。

○山火事を発生させないために

山火事を発生させないためにも、私たち一人ひとりが次のことに注意をして、山火事予防に取り組みましょう。

① 枯れ草がある等火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。

② 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。

③ やむを得ずたき火等火を使用する場合は、火気のそばを離れず、使用後は完全に消火すること。

④ 火入れを行う際、市町村長の許可を必ず受けるとともに、十分な実施体制をとること。

⑤ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てをしないこと。

⑥ 火遊びはしないこと。

○おわりに

どんなに小さな火でも燃え広がれば大きな森林も破壊してしまいます。私たちの暮らしに欠かせない水源かん養や県土の保全など森林の持つ大切な役割を失ってしまうことになり、燃えてしまった森林がもとの姿に回復するまでには、何十年もの月日と多大な費用を要します。

ふくしまの豊かな森林から山火事を発生させないよう県民の皆さん一人ひとりの御協力をお願いします。

※1　総務省消防庁公表資料（平成二九年七月二八日付け）より

森林保険

山火事などの災害に備え、森林保険に加入しましょう。
くわしくは、最寄りの森林組合、または森林組合連合会へ御相談ください。

森林保険イメージキャラクター
マモルくん

第二回福島県きのこ料理コンクールを開催

公益社団法人　福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

食用きのこについての正しい知識とその利活用の普及啓発により、県民の健康増進に寄与するとともに、きのこ産業の振興を図るため、昨年度に引き続き、きのこ料理コンクールを開催しました。

県産きのこを用いた料理であることなどの条件で平成二九年八月から募集したところ、昨年度を上回る一六五点（うち高校生一〇九点、大学生四八点）の応募がありました。

表彰式後の記念撮影

本審査調理会場の様子

当協会で委嘱した審査員五名により、十月二五日に書類による一次審査、十一月二三日には郡山市安積総合学習センターにおいて、一次審査で選考された七名の方により調理の実技を伴う本審査を行いました。本審査出場作品は、地元の食材を工夫して使用しているもの、きのこの使用に意外性があるものとなっていました。

審査員は、「味覚」、「独創性」、「普及性」、「経済性」及び「総合」の五つの審査基準で審査した結果、下表のとおり入賞作品を決定しました。

なお、最優秀賞を受賞した飯村菜月さんは、平成三〇年三月十三日に東京都内で開催される第三一回きのこ料理コンクール全国大会へ福島県代表として出場します。

きのこ料理コンクールは、来年度も開催します。県産きのこを用いたご自慢の一品をご応募いただき、県産きのこの振興にお力添えくださいますようよろしくお願いいたします。

最優秀賞受賞作品
「愛LOVE福島湖南産しいたけ米粉焼!!」

受賞者一覧

	作　品　名	氏　名	職　業
最優秀賞	愛LOVE福島湖南産しいたけ米粉焼!!	飯村　菜月	郡山女子大学附属高等学校３年
優 秀 賞	ナメナメナメーチョ	高橋　藍	郡山女子大学付属高等学校１年
優 秀 賞	しいたけの唐揚げロール	増子　夏海	郡山女子大学１年
特 別 賞	きのこで健康！そばの実でビューティーうつくしまふくしまざくざくスープ	渡邊　朋夏	福島県立小野高等学校３年
奨 励 賞	きのこソースのヘルシーお好み焼き	室井つな子	地方公務員
奨 励 賞	トマト包みしいたけ～しいたけダシあんかけがけ～	大竹　春奈	郡山女子大学１年
奨 励 賞	きのこと豆腐のネバネバピリ辛サラダ	幕田　幻	福島県立梁川高等学校２年

平成二十九年度
森林土木研修会を開催しました

福島県森林土木建設業協会
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林土木建設業協会と公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会は、平成三〇年一月十五日(月)に福島市の福島県建設センターにおいて森林土木研修会を共催で開催しました。

当日は、協会会員のほか、福島県や市町村の職員など約一一〇名の参加をいただき盛会に実施しました。

菅家会長あいさつ

初めに、両協会を代表し、菅家洋一福島県森林土木建設業協会会長のあいさつの後、福島県農林水産部農林技術課主査　松岡武史氏を講師に、「森林土木事業における施工パッケージ型積算方式」について講義を受けました。

真剣な表情で講義に聞き入る受講者

講義の内容は、福島県が平成二九年七月より導入している施工パッケージ型積算方式について、構造物を中心に五工種二〇パッケージを導入している現状とともに、施工パッケージ型積算方式の概要、標準単価表の見方、施工パッケージ型積算方式による積算方法の説明があり、引き続き演習を実施しました。

次に、福島県出納局工事検査課主幹(兼)専門工事検査員　金子昌弘氏を講師に、「不適合工事の防止」について講義を受けました。

講義の内容は、これまでの不適合工事の実例については、昨年九月末までに七件、一二月に二件の計九件となっており、良くある事例として現場密度管理の誤りやすい点や土木と農林の違いなど、具体的な事例をもとに解説していただきました。

質疑応答では出席者からの疑問点や意見などに対して、講師のお二人から丁寧な説明をいただくことができました。

今回の研修は、受注者と発注者が一堂に会し、森林土木事業に係る諸問題について共通の認識を得ることができ、大変意義のある研修となりました。今後、協会としても、今回の研修を踏まえ、森林土木事業の適切な実施に資するよう、より一層研鑽を重ねるとともに、不適合工事の再発防止を図るよう積極的に取り組んでまいります。

松岡氏の講義

金子氏の講義

普及の種をまく

福島県県中農林事務所
林業普及指導員　福　地　雅　弘

県中地方は、充実した高速交通体系、県内有数の人口集積、工業及び商業部門での高いポテンシャルなど様々な恵まれた条件を有しています。

この県中地方の農林業・農山村の振興には、これら恵まれた条件を十分に生かしながら、地域に暮らす人々との強い絆を結び、それを基に人材育成や林業普及活動の機会を増やしていくことが必要と考えます。

赴任した昨年４月初めから、懐かしい方々より新人育成の相談や、普及指導にかかる電話をたくさんいただきました。

なかには、「（上司から）挨拶に行ってこいと言われて参りました。」と話される方もおられました。

このチャンス（機会）を逃すことなく、さらに強い絆となるよう取り組んで参りました。

例えば、上記の「新人育成の相談」では、年間研修計画の作成を指導し、自分も普及指導員として講師になったほか（写真①）、関連して労働安全研修会（写真②）や木工工作などの依頼もあり、本年１月までの10ヶ月間で講師になった回数は、自分一人だけでも計８回、対象人数も約300名になりました。

このほか、林業事業体等との話の中で必要と考え開催した林業機械の実演会や研修などもあり、それらを含めますと全体では約500名（延べ人数）の方々と話すことができました。（写真③④）

県中地方での勤務は９年ぶりですが、前回の普及活動でまいた「種」が「絆」として実り、今回、多くの方とお話しすることができたものと考えています。

今後も、地域の人々との絆を大事にし、少しでも多くの方に林業技術や知識の普及定着を図りたいと思います。

一方、新たな「絆」を生み出すであろう「種」も蒔かれています。昨年の４月以降、県中地区の障がいを持った方への支援にかかる相談があり、これにつきまして、機会ある毎に情報収集するなどの対応を取っています。

拙い経験しかありませんが、これまで、障がいがあっても現場で素晴らしい能力を持って一所懸命に働いている方を見てきました。

そのため、本人が希望するならば、林業関係の職場でもやっていける、むしろ活躍できる方もいるのではないかと考えています。

簡単でないことは承知していますが、多くの皆さんが地域社会で個々の能力と適性を活かせるようにしたいとも考えておりますので、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

写真①：森林組合初任者研修

写真②：労働安全研修会

写真③：間伐技術の研修

写真④：移動式木材破砕機実演会

福島県林業労働力確保支援センターだより

伐木等業務特別教育を支援

―福島県立会津農林高等学校で実施―

講義を受ける生徒達

◎はじめに

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、平成二九年十一月二〇日（月）から二二日（火）にかけて、福島県立会津農林高等学校において、同校森林環境科二年生三〇名を対象に伐木等業務の特別教育を開催しました。

◎支援センターの取組紹介

講義が始まる前の若干の時間を使い、昨年二月に作成したＤＶＤ「きらり！福島の森林づくり　今高性能林業機械がおもしろい」の一部等を視聴しました。

◎（安全衛生教育）室内

林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部の講師の方々により、「チェーンソー作業の安全ナビ」のテキストを基に、室内の講義を受けました。

① 伐木作業に関する知識
服装や保護具、悪天候時の作業中止の基準、近接作業の禁止、上下作業の禁止、チェーンソーの基本操作、キックバックの防止、伐倒方向の選定、避難場所の選定、伐倒の合図、伐倒の方法、待避、かかり木の処理方法、造材作業の安全な手順など

② チェーンソーに関する知識
チェーンソーの構造、取り扱い等、安全装置の機能、燃料、チェーンオイルについて、チェーンソーの点検では、毎日、毎週、毎月ごとに点検の項目や方法、チェーンソーの故障と整備など

③ 振動障害及びその予防に関する知識
振動障害の原因、症状と予防対策の骨子、振動障害の予防措置、特殊健康診断の受診など

④ 関係法令等
罰則内容など

◎（安全衛生教育）屋外

学校の敷地を実習場所として、三班に分かれて実技を行いました。
最初に、チェーンソーの操作の指導を受けた後、丸太輪切り、立木伐倒の受け口追い口作りを生徒全員が行いました。

◎アンケートの結果から

下表のとおりの回答と意見・感想をいただきました。チェーンソーの実技はインパクトがあったようです。三分の一の生徒が森林・林業関係の仕事をしたい！と答えたことを頼もしく思います。

終わりに

今年度から刈払機教育以外に新たに追加しましたが、熱心に受講され実り多いものとなりました。

チェーンソーの説明する講師

メンテナンスを指導する講師

丸太輪切りの操作実技

立木伐倒の操作実技

◆伐木等の特別教育を受けてみて、特に印象に残ったものは？（複数回答可）

□伐木作業に関する知識	14名
□チェーンソーに関する知識	13名
□振動障害の知識	６名
□実技：チェーンソーの操作	21名
□実技：チェーンソーの整備	９名

今後、森林・林業関係で仕事をしたいと思ったか

□はい	11名
□いいえ	20名

◆今後、森林・林業関係でやってほしいことは？

□現場での作業体験	13名
□林業現場の見学	10名
□製材工場・原木市場の見学	８名
□地元の林業者の講話	５名
□有名林業地の見学	７名

■意見・感想等

○チェーンソーの点検について詳しく知りたかった。
○伐木作業、チェーンソーに関する知識を知ることができました。
○時間が短かったので、もっと長くやった方が良いと思いました。
○チェーンソーの紹介が勉強になりました。
○命に関わる仕事を改めて怖いと思った。
○すごかった。
○チェーンソーを持った時のみなさんがとてもカッコよかったです。
○いい資格がもらえて良かったと思います。なんかに役立てていきたい。ありがとうございました。
○チェーンソーの使い方などが詳しく分かったので良かった。
○チェーンソーの実技がわかりやすく楽しかった。

木連だより

安全な県産木材検査・供給体制の構築

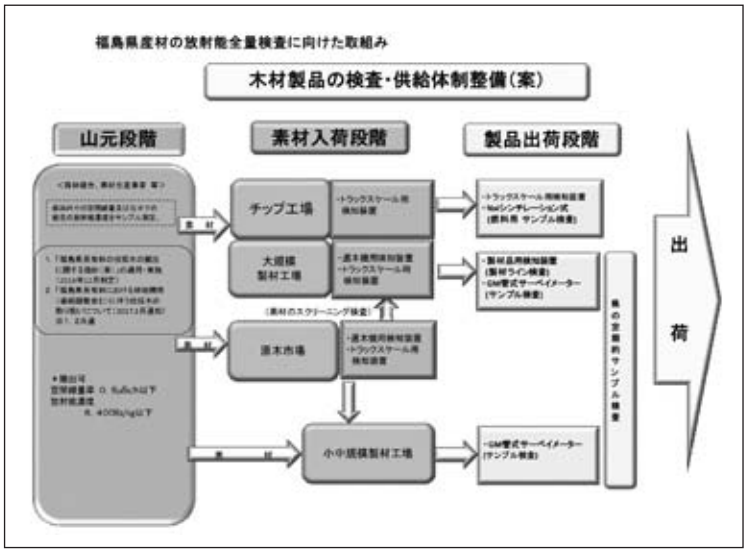
福島県木材協同組合連合会

東電福島第一原子力発電所事故による県産木材への放射性物質の影響を危惧し、福島県木材協同組合連合会においては、平成二四年度から国の補助事業を活用し、木構造振興㈱・材料科学技術振興財団とともに放射性物質測定装置の開発・設置による安全な県産木材の供給体制づくりを進めてきました。

1. 県産木材の検査・供給体制

検査・供給体制の概要については図に示すとおりであります。

特に素材（丸太）の入荷段階における検査に重点をおき、検査装置の開発・設置を進めてきました。

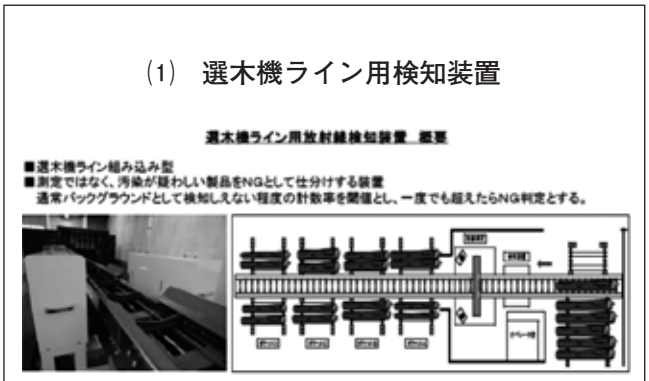


2. 放射性物質検知装置の配置

県内素材の流通はその約半数が原木市場を経由し、それ以外は大規模製材工場への直送、チップ用材は直接チップ工場に搬送されるものが大部分であります。

このため素材での検査体制を構築できれば、大部分の県産木材の安全を確認できることになります。

(1) 選木機ライン用検知装置



・導入実績・予定

平成二七年度

郡山地区木材製材（協）（原木市場）

協和木材㈱（製材工場）

平成二八年度

南東北木材㈱（原木市場）

平木材市場（原木市場）

平成二九年度

いわき木材流通センター（原木市場）

奥久慈木材流通センター（原木市場）

東白木材市場（原木市場）

今後の予定

原木市場及び製材工場　四基

(2) トラックスケール用検知装置

・導入実績・予定

平成二七年度

協和木材（製材工場）

今後の予定

原木市場、チップ加工工場及び製材工場　十五基

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 ―35―

泉の一葉マツ

樹木医　鈴木俊行

「泉の一葉マツ」は、南相馬市原町区泉字町池地内に生育している。泉地区は、南相馬市役所（旧原町市役所）から東へ約四・五キロメートルの場所で、国道六号から県道七四号（原町海老相馬線）を東へ約二キロメートル、海岸から約一キロメートル内陸へ入った場所にある。「一葉マツ」は県道七四号のすぐ脇に生育し、南東側にもマツが一本あり、水田地帯が広がる中にこの二本が立っている。平成二三年（二〇一一）三月十一日に発生した未曾有の大震災による大津波は、海岸から約一キロメートル内陸に入ったこの地区をも襲い、付近は約一・五メートルも冠水して多くの民家や樹木が流されるなど甚大な被害を受けた。本樹の周辺の田畑は津波による塩害の被害を受けたが、本樹にはわずかに津波が達した程度でほぼ原形をとどめ、この事態を耐え抜いた。

本樹にまつわる伝承として、中村藩の地志「奥相志」によれば、源義経が奥州平泉への下向の際、泉に住んでいた泉長者のことを聞いた義経が、莫大な富を持つ長者の存在が後々の災のもとになるという理由で、弁慶に命じて長者の屋敷を焼き払ったとされ、この時弁慶がこの松に腰を掛け燃える長者屋敷を眺めていたという伝説がある。この伝説から「弁慶の腰掛松」「弁慶松」とも呼ばれている。大正時代までは二本あったが、一本は枯死しこの一本だけとなった。現在は本樹と本樹の南東側に寄り添うように生育する松があり、二本並んで立っている。本樹の推定樹齢は約四〇〇年といわれている。

本樹はクロマツ（Pinus thunbergii）でマツ科マツ属の常緑針葉高木である。クロマツは普通二葉であるが、本樹は二葉に一葉が交っていることから学術的に貴重なもので、「一葉マツ」の名がついた。また、昭和三〇年（一九五五）十二月二七日に県の天然記念物に指定され、昭和五八年（一九八三）二月十七日に県緑の文化財に登録されている。

クロマツは、日本と韓国の海岸に自生し、日本では本州、四国、九州に分布し、北海道では海岸沿いや道路沿いに植林されている。海岸の岩の上から砂浜海岸に広く見られ、特に砂浜のクロマツ林は白砂青松と呼ばれて日本を代表する景観として重視され、人為的管理によって維持されてきた。クロマツの名前はアカマツと比較して黒っぽい樹皮をしていることからこの名が付いた。

本樹の樹高は九・〇〇メートルで、幹周三・五〇メートル、根元周三・九〇メートルの名木である。主幹は、くの字に曲がりながら伸び、まるで龍がどっしりと動かず天を望んでいるかのようである。枝張りは東三・六〇メートル、西一一・〇〇メートル、南九・〇〇メートル、北七・〇〇メートルで大きな傘を開いたような樹形をしている。平成二三年三月の大震災には耐えたが、やはり塩害による影響なのか樹勢の衰退が見られ、二年後の平成二五年秋にマツノザイセンチュー病の罹病が確認され、急遽後継樹の育成を行うとともに、治療を実施し現在も治療中である。

現在は頂部の枝が数本枯死し、美しい樹形は変わってしまったが、大震災を耐え抜きマツクイムシと戦っている強い生命力をぜひ見ていただきたい。

木材市況

十月の原木市場への入荷状況は、前月比七パーセント増（前年比七パーセント減）の二二、四八九立方メートルとなっている。

販売量は、前月比一一パーセント増（前年比五パーセント減）の二二、八五〇立方メートルとなっている。

十一月の価格は強含みとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（11月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	9（8～10）	0	（0～0）		9（8～9）	0	9（8～10）	0
		10～14		並		11（10～12）	0	（0～0）		11（11～12）	0	11（10～12）	0
	中	14～22	3.00	並	スギ	13（12～13）	1	11（11～11）	0	13（13～14）	1	13（11～14）	1
				並	ヒノキ	19（14～24）	△1	（0～0）		15（15～15）	0	17（14～24）	0
			6.00	並	スギ	16（15～17）	0	11（10～12）	0	16（16～17）	0	15（10～17）	1
				並	ヒノキ	30（25～35）	1	（0～0）		21（18～24）	0	25（18～35）	0
		20～28	3.65	並	スギ	11（10～12）	0	11（10～12）	0	12（12～12）	0	11（10～12）	0
			4.00	並		11（10～13）	0	12（12～12）	1	12（12～12）	0	12（10～13）	1
			4.00	並	アカマツ	9（7～11）	0	（0～0）		10（9～10）	1	9（7～11）	0
			1.80	並		8（5～11）	0	12（12～12）		7（6～7）	0	8（5～12）	1
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（0～0）		（0～0）		28（28～28）	0	28（28～28）	0
				並	米マツ	（0～0）		（0～0）		29（28～29）	0	29（28～29）	△1
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（0～0）		30（30～30）		28（27～28）	0	28（27～30）	0
			4.00	並	アカマツ	（0～0）		（0～0）		25（25～25）	0	25（25～25）	0
				並	カラマツ	（0～0）		16（16～16）		26（25～27）	0	23（16～27）	△3
パルプ用材				並	マツ	6（6～6）	0	（0～0）		5（5～5）	0	6（5～6）	0
				並	広葉樹	9（9～9）	0	（0～0）		6（6～6）	0	8（6～9）	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7（6～8）	0	7（6～9）	0
	13～14		並	カラマツ	9（8～9）	0	8（7～8）	0
	16以上		並	カラマツ	13（13～13）	0	10（9～11）	0

注）1．前月差の△印は値下りを示す。
2．（　）内は各地域の価格幅、（　）外は各地域の平均的価格を示す。
3．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
4．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

会津の景観と魅力

会津農林事務所　石井　篤

会津農林事務所管内には鶴ヶ城や飯盛山など、歴史的な名所のほか、猪苗代湖、裏磐梯の湖沼群、磐梯山や飯豊山など貴重な自然が数多くあります。中でも日本百名山の一つに数えられる飯豊山は、その自然景観を通じて全国に知られています。

十七年前に当地で勤務していたとき、一度だけ飯豊山の登山に挑戦したことがあります。その時は、西会津町弥平四郎から登る『いいでの集い』に参加しての登山でしたが、本格的な登山経験が無かった私は、スタッフや他の参加者の方々に助けていただいての登頂でしたが、山頂からの雄大な眺望は今でも良い思い出となっています。

その後の私は、時の流れとともに確実に肥大成長したため、今は登山をする代わりに観光用道路をドライブしています。その中でも一番のお気に入りは、裏磐梯と米沢を結ぶ西吾妻スカイバレーです。目の前に広がる青空と眼下の檜原湖は絶景で、特に新緑と紅葉のシーズンは一見の価値があると思います。

食文化でも、ラーメン、蕎麦、ソースカツ丼、日本酒など充実した会津の魅力があふれています。

昨秋、従来の経路に加え東北中央道の福島市から米沢市までの区間が開通し新たなルートも確立されたことで、喜多方方面へのアクセスが格段に改善されました。これにより、より多くの方に当地を訪れていただき会津の魅力を体験していただければと思います。

北塩原村「雄国沼」

はなしのひろば

行きつ戻りつ

二月に入って少しずつ日差しが柔らかく暖かく感じるようになってきた。ガラス越しの日差しの中で眠っている猫に思わず寄り添い、猫と一緒に同じ姿勢をとってみる。瞼を閉じると、生まれたての早春の光の何と明るいこと。何て心地よいのだろう。軒下のツララの滴が水たまりに落ちる音までもが心地よい。光と音が春の近いことを知らせてくれているのだろうか。

矢頭献一林学博士は「植物百話」―冬から春へ―で「暖かい東海地方では、二月上旬になると樹木の根圧が次第に高くなり樹液が幹の中を流れ始める。人によっては幹に耳をあてるとその流れる音が聞こえるという。」と書かれている。樹液を上げることで枯れ枝はつややかになる。このつややかさは今のこの時季にしか感じることができないのだろう。庭の梅も桜の紅色の蕾も、それぞれの形や大きさで光の春を感じているように思うが、今の時季のつややかさにも注目してみたい。枯れ色の冬景色が少しずつ淡い春色の景色に感じられていくかも知れない。

立春から雨水にかけてのこの季節は、寒さと暖かさが行きつ戻りつである。冬の中にもう春を感じるのか、春の中にまだ冬を感じるのかでも見る景色やそれぞれの思いは違うだろうが、寒気の中梅が一輪一輪咲き始めると春淡しの風情を感じないだろうか…。

そして、二月末には春を知らせる主役は、光から風へと変わる。雪国では南風が雪を食らう季節になり、南風が雪を急に解かすので「雪食い風」と呼ばれ、三〇センチの積雪を数時間で消すこともあるという。俳句の歳時記には「雪解風（ゆきげかぜ）」という言葉が春の季語になっている。

（都）

表紙の写真

「囲炉裏」

第14回ふくしま森林・林業写真コンクール入選
受賞者　石津節男さん（玉川村）
撮影場所：下郷町

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人　水戸　典明
陽光社印刷株式会社
（定価　一〇八円）

お知らせコーナー

平成29年度福島県きのこセミナー　参加者募集

きのこに関する栽培技術及び最新情報を提供し、きのこ産業の原発事故からの早期復興を支援するため、「新たな飛躍」をテーマにセミナーを開催します。

１　日　時
平成30年２月９日（金）　13：00～16：40

２　場　所
郡山市日和田町「福島県農業総合センター」

３　セミナーの内容
(1)　食品のリスクを考える　－放射性物質をテーマに－
(2)　震災からの復興状況と今後　－原木しいたけ復活にかけて－
(3)　有機循環型きのこ栽培を目指して！
(4)　福島県におけるきのこの放射性物質検査状況
(5)　原木しいたけ栽培再開のための実証試験

４　主催及び共催
主催　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
共催　福島県きのこ振興協議会

５　申込み先
公益社団法人福島県森林･林業･緑化協会　きのこ振興センター
（TEL 024-947-2188　FAX 024-947-6926）

国有林モニターの募集

関東森林管理局では、国有林野事業の運営等について国民の皆様にご理解いただくとともに、ご意見・ご要望等をお聞きし、国有林野の管理経営に役立てていくため、「国有林モニター」を募集します。

国有林モニターの皆様には、国有林の広報誌などを定期的にお送りし、アンケートに回答いただきます。また、年１回、国有林モニター会議・現地視察への出席等をお願いします。

募集人員は70名程度、依頼期間は平成30年４月から２年間です。

国有林野事業に関心のある20歳以上（平成30年４月１日現在）の方が応募いただけます。

詳細は関東森林管理局ホームページでご覧ください。
（http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kikaku/kokuyuurinmonita.html）

【問合せ先】　関東森林管理局国有林モニター担当係（企画調整課内）　　TEL 027-210-1150

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹

または最寄りの森林組合

林業福島 二月号 通巻第六四二号
昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
平成三十年二月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一〇八円
年間購読料一、九〇〇円（税・送料込）

緑地管理の未来をひらく

レインボー薬品株式会社と住化グリーン株式会社は、非農耕地向け事業の
リーディングカンパニーを目指すことを目的とし、平成29年10月1日をもちまして合併いたしました。
お客様の信頼を第一に全力を尽くす所存でございます。
引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月吉日

松くい虫予防薬剤
ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤
ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート
くん蒸与作シート

ハチ退治
ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

効率良く快適に！手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ

竹もOK！
SR3100
出力　18.4kW（質量1,330kg）
水冷ディーゼル
967634301
¥3,580,000(税抜)

ハンマナイフモア

ZHM1550
出力　27.5kW（質量1600kg）
967081901
¥5,860,000(税抜)

ZHM800
出力　7.4kW（質量230kg）
967088901
¥748,000(税抜)

ハスクバーナー・ゼノア㈱福島県代理店
㈲うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775　〒963-0211　郡山市片平町字新蟻塚108の1